

I 本市の概要

【市勢】

		平成 30 年 4 月 1 日現在	平成 31 年 4 月 1 日現在
人 口	計	172,194 人	172,321 人
	男	81,116 人	81,039 人
	女	91,078 人	91,282 人
世帯数		73,939 世帯	74,622 世帯
面 積		39.67 平方キロメートル	

【労働力状態】

資料：国勢調査

項目	年度	平成 22 年	平成 27 年
労働力人口		76,630 人	77,366 人
就業者		72,820 人	74,671 人
完全失業者		3,810 人	2,695 人
15 歳以上人口		153,292 人	152,032 人

II 労働行政の機構

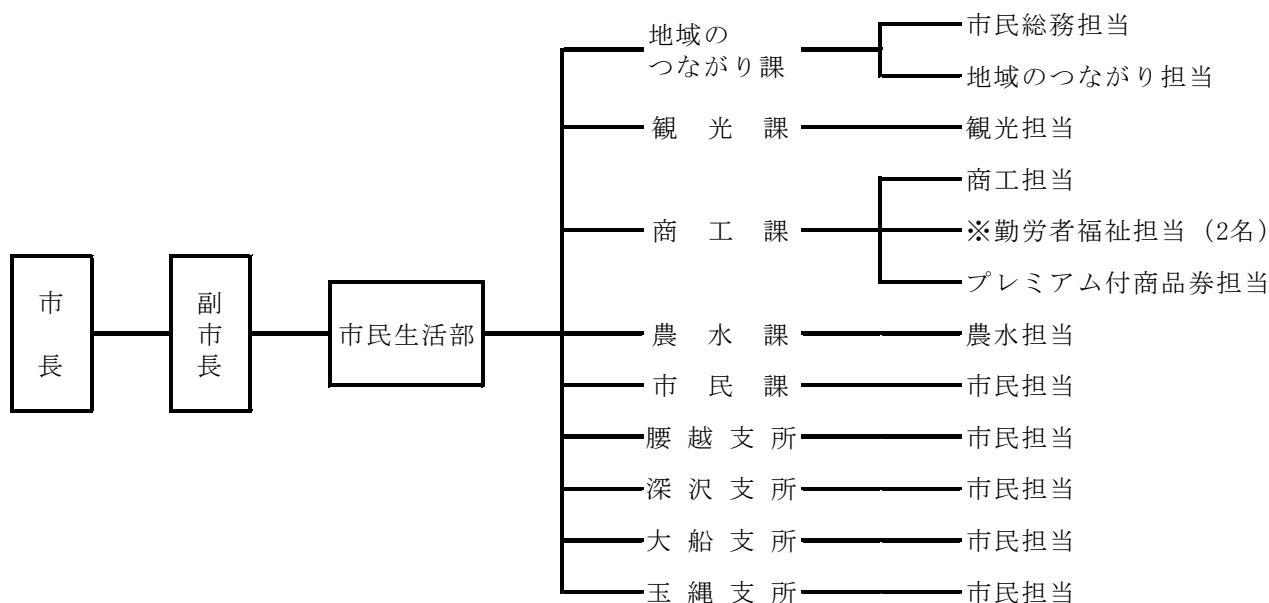
沿 革

(平成31年4月1日現在)

昭和46年 4月	労政担当主査の設置（観光商工課内）
昭和47年10月	機構改革により市民相談室労政係となる。
昭和49年 5月	鎌倉市勤労福祉会館開設
昭和50年 5月	機構改革により市民部労政課となり労政係を置く。併せて勤労福祉会館に館長（労政課長が兼務）と管理係を新設
昭和52年 7月	勤労者共済係新設
昭和58年 1月～7月	勤労福祉会館改修工事
平成 2年 1月	勤労福祉会館の名称を「レイ・ウェル鎌倉」とする。
平成 2年 4月	機構改革により勤労者共済係と労政係を併せて労政係となる。
平成 8年 4月	機構改革により市民活動課勤労者福祉担当及びレイ・ウェル鎌倉となる。
平成10年 8月	レイ・ウェル鎌倉の結婚式業務廃止
平成14年 4月	機構改革により勤労者福祉担当とレイ・ウェル鎌倉を併せて勤労者福祉担当となる。
平成18年 4月	レイ・ウェル鎌倉に指定管理者制度を導入
平成24年 4月	機構改革により市民活動部産業振興課勤労者福祉担当となる。
平成26年 3月	レイ・ウェル鎌倉が廃止となる。
平成30年 4月	機構改革により市民生活部商工課勤労者福祉担当となる。

機 構 図

(平成31年4月1日現在)



事 務 分 掌

1 勤労者福祉担当

- (1) 勤労者福祉施策の総合的企画、調整及び推進についての事項
- (2) 労働に関する調査並びに労働者団体及び労働関係機関との連絡及び協調についての事項
- (3) 事業主及び労働者との連絡調整についての事項
- (4) 労働相談についての事項
- (5) 公益財団法人湘南産業振興財団との連絡及び協調についての事項
- (6) その他労働者の福祉についての事項

III 労働行政事業概要

1 労働団体及び関係機関との連絡調整

勤労市民参加の労働行政の確立と、働きがいのあるまちづくりの推進並びに行政の円滑的運営を図るため、次の事業を行いました。

- (1) メーカー実行委員会との懇談会 他
- (2) 国縣市労政関係会議 他

2 相談・カウンセリング

雇用・賃金・安全問題等労使のかかえる諸問題、労働法律問題を正しく解決するため、職場や日常生活のストレスで悩む人、その同僚や家族の相談に応じるため、また、就職活動に関するアドバイスを行うために次の事業を行いました。

- (1) 労働相談（社会保険労務士）
相 談 日 毎月3回 13時30分～16時、または16時30分～19時
- (2) Eメール労働相談（社会保険労務士）
相 談 日 随 時
- (3) メンタルヘルスカウンセリング（産業カウンセラー）
相 談 日 毎月1回 13時30分～16時30分
- (4) 就職支援相談（キャリアカウンセラー）
相 談 日 毎月1回 15時～16時

	相 談 件 数			
	労働相談	Eメール 労働相談	メンタルヘルス カウンセリング	就職支援相談
30 / 4月	5	1	0	3
5月	3	2	1	1
6月	2	0	0	1
7月	2	2	1	1
8月	2	0	0	0
9月	1	0	1	2
10月	1	1	0	1
11月	0	2	0	0
12月	2	0	0	2
31 / 1月	1	0	1	2
2月	2	0	2	2
3月	5	0	2	4
合計	26	8	8	19

- (5) 街頭労働相談
(神奈川県かながわ労働センター、神奈川県社会保険労務士会藤沢支部と共催)
- 日 時 平成30年6月12日(火) 13日(水) 各回13時～19時
- 場 所 JR大船駅ルミネウイング3階正面入口前
- 相 談 員 かながわ労働センター職員・社会保険労務士
- 相 談 者 256人

3 セミナー・相談会・面接会

(1) 就労に悩む若者と家族のための勉強会

場 所 鎌倉生涯学習センター（鎌倉市小町1-10-5）
湘南・横浜若者サポートステーション（鎌倉市小袋谷1-6-1）
鎌倉市役所講堂（鎌倉市御成町18-10）

対 象 就労に悩む若者とその家族

ア 第1回

日 時 平成30年7月7日(土) 8月18日(土) 9月8日(土) 各回13時30分～15時
参 加 者 延 14人

イ 第2回

日 時 平成30年10月7日(土) 11月17日(土) 12月1日(土) 各回13時30分～15時
参 加 者 延 21人

ウ 第3回

日 時 平成31年1月19日(土) 2月2日(土) 3月2日(土) 各回13時30分～15時
参 加 者 延 23人

(2) 就職対策ミニ講座

日時・場所 平成30年 4月19日(木) 25日(水) 各回9時30分～16時 鎌倉生涯学習センター
(鎌倉市小町1-10-5)

5月15日(火) 30日(水)、 6月11日(月) 29日(金) 時間・場所 同

7月10日(火) 25日(水)、 8月20日(月) 時間・場所 同

9月11日(火) 26日(水)、10月 9日(火) 24日(水) 時間・場所 同

11月12日(月) 30日(金)、12月11日(火) 26日(水) 時間・場所 同

平成31年 1月18日(金) 29日(火) 時間 同 鎌倉商工会議所会議室

(鎌倉市御成町17-29)

2月8日(金) 26日(火)、 3月15日(金) 26日(火) 時間・場所 同

対 象 就職希望者

参 加 者 延 116人

(3) 女性就労応援セミナー(市民協働事業、働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)

日時・場所 平成30年 5月17日(木) 10時～12時 鎌倉生涯学習センター(鎌倉市小町1-10-5)

平成30年 7月19日(木) 10時～12時 鎌倉・旅する仕事場 御成オフィス

(鎌倉市御成町11-37)

平成30年 9月20日(木) 10時～12時 鎌倉生涯学習センター

平成30年11月15日(木) 10時～12時 鎌倉生涯学習センター

平成31年1月17日(木) 10時～12時 鎌倉商工会議所会議室(鎌倉市御成町17-29)

平成31年3月14日(木) 10時～12時 鎌倉商工会議所会議室

対 象 就職希望女性

参加者 53人

(4) パート・派遣・契約社員のための労働相談会(神奈川県かながわ労働センターと共催)

ア 第1回

日 時 平成30年11月2日(金) 10時～16時

場 所 鎌倉市役所1階ロビー(鎌倉市御成町18-10)

相談員 かながわ労働センター職員

相談者 26人

イ 第2回

日 時 平成31年3月1日(金) 10時～16時

場 所 鎌倉市役所1階ロビー(鎌倉市御成町18-10)

相談員 かながわ労働センター職員

相談者 25人

(5) 湘南合同就職面接会

(ハローワーク藤沢・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・神奈川県と共催)

日 時 平成31年1月24日(木) 13時～15時30分

場 所 藤沢商工会館ミナパーク6階 多目的ホール(藤沢市藤沢607-1)

参加企業 29事業所

来場者 63人

(6) 障害者就職面接会(藤沢・戸塚障害者合同面接会)

(ハローワーク藤沢・ハローワーク戸塚・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・神奈川県と共催)

日 時 平成30年10月29日(月) 13時～16時

場 所 秩父宮記念体育館(藤沢市鵜沼東8-2)

参加企業 35事業所

来場者 275人

(7) 鎌倉の企業就職面接会(ハローワーク藤沢と共催、鎌倉商工会議所後援)

日 時 平成30年11月21日(水) 13時～15時30分

場 所 鎌倉芸術館1階 ギャラリー1(鎌倉市大船6-1-2)

参加企業 9事業所

来場者 15人

4 雇用支援情報提供

求職者への情報提供の場として商工課及び市民相談課、支所、図書館などの市公共施設のパンフレットスタンドに、ハローワーク藤沢の求人情報、かなテクカレッジ(県立職業技術校)の案内情報、神奈川県労働局のセミナー等の情報を配架し提供しました。また、市ホームページの『鎌倉企業情報発信・交流サイト』を利用した鎌倉求人情報やハローワーク藤沢の求人情報を市ホームページに掲載して提供をしました。

5 労政資料の発行・整備

- (1) 勤労市民ニュースの発行
- (2) 労働関係資料の整備

6 駐留軍関係離職者等対策事業

市内の駐留軍離職者に対する職業紹介、生活相談等を行う関係団体へ補助を行うとともに関係機関と連携し、駐留軍離職者等の福祉向上に努めています。

- (1) 駐留軍離職者相談 ※平成24年度から横須賀市の相談会場へ統合

相談件数

年 度	23	24	25	26	27	28	29	30
相談者数(人)	7	0	8	1	0	0	0	0

- (2) 駐留軍基地従業員数

平成30年12月末日現在全国の駐留軍関係従業員数は、24,952名で前年同期より377名の減少となっています。

都道府県別従業員数で見ると神奈川県は9,142名、構成比 36.6%（前年9,129名、構成比 36.0%）となっています。

- (3) 今後の情勢

沖縄県の普天間基地の移転計画に伴い、岩国基地の拡充により国内の基地従業員の配置の見直しが進められ、特に、神奈川県内の厚木飛行場基地従業員に大きな影響を与えるものと思われましたが、県内外への配置転換等で終息しつつあります。中高年齢者を中心に自己の都合による離職、継続雇用期間中の離職者が散見されています。

一方、横須賀基地艦船修理廠では、新たに1隻の巡洋艦が増加し、要員増員がされるなど、基地を取り巻く環境は不透明です。

労管別県内在住駐留軍関係従業員数

契約別 \ 労管別	横須賀	座間	計
MLC	4,935	2,665	7,600
IHA	705	477	1,182
HPT	269	91	360
計	5,909	3,233	9,142

(平成30年12月末日現在)

従業員の雇用形態は、地位協定に基づき日米間で締結した「基本労務契約」及び「諸機関労務協約」の定めにより、米軍からの労務要求に基づき日本側が雇用主として従業員を採用し、米軍が使用者として指揮監督する、いわゆる間接雇用方式を採っています。

- 基本労務契約 (MLC) 在日米軍部隊の機関(米軍歳出資金機関)で働く通訳、警備員、作業員、一般事務等の職種の従業員を対象とする契約
- 諸機関労務協約 (IHA) 地位協定第15条の食堂、販売所、クラブ等の諸機関(米軍歳出外資金機関)で働く従業員を対象とする協約
- 時給制・臨時従業員 (HPT) 臨時的な業務や常用職員を補助するために1年を超えない期間、時給制で勤務する従業員

7 調査事業

市内の賃金事情、労働時間、従業員数、平均年齢等について労働動態調査を実施し、『鎌倉市の労働事情』として発行しています。これにより、市内の労働事情を把握し、労働行政の基礎資料とするとともに、労使にその資料を提供します。

8 勤労者生活資金融資制度

この制度は、勤労者の生活の安定と向上に役立てていただくため、低利で生活資金を融資する制度です。

- (1) 利用できる人 市内に在住・在勤の勤労者
- (2) 融資内容 (平成31年4月1日現在)
 - ア 融資限度額 300万円
 - イ 利率 年1.9%
育児・介護休業対策費：年0.8%、応急生活対策費：年1.2%
教育費：年1.7%、増改築費：年1.4%
 - ウ 返済期間 10年以内(資金用途が、育児・介護休業対策費に係るものについては、1年以内の据置可。)
 - エ 返済方法 元利均等割賦返済(半年賦併用)
 - オ 保証 別途保証料、年0.7~1.2%がかかります。
 - カ 資金用途 増改築費 冠婚葬祭費 医療費 教育費

耐久消費財購入費 技能取得費 育児・介護休業対策費
応急生活対策費（貸金遅欠配によるものに限る）

(3) 取扱い金融機関 中央労働金庫 大船支店

※ 中央労働金庫は労働金庫法に基づいて、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫であり、これらの団体の行う福利共済活動のために金融の円滑を図り、もってその健全な発達を促進するとともに労働者の経済的地位の向上に資することを目的としています。

9 中小企業退職金共済掛金補助制度

この制度は、市内の中小企業の事業主が、独立行政法人 勤労者退職金共済機構または鎌倉商工会議所が行う退職金共済制度に加入した場合に、掛金額の一部を市が補助して「中小企業退職金共済制度」を奨励するものです。

(1) 中小企業退職金共済制度

この制度は、退職金を支払うことが困難な中小企業が、従業員に大企業と同じような退職金を支払うことを目的とする制度です。中小企業従業員の福祉の増進と雇用の安定をはかり、中小企業の振興と発展に役立てることをねらいとしています。

この制度には主に次の2種類があります。

ア 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 …… 「中小企業退職金共済制度」

イ 鎌倉商工会議所 …… 「特定退職金共済制度」

(2) 利用できる人

市内に主たる事業所を有し、現に事業を営んでいる中小企業の事業主で、独立行政法人勤労者退職金共済機構または、鎌倉商工会議所の退職金共済制度の契約をし、掛金を納付している人です。

(3) 補助金内容

ア 退職金を受ける従業員1人当月額400円

イ 企業が退職金共済契約を締結した月から3年間

10 湘南勤労者福祉サービスセンター

実施法人 公益財団法人湘南産業振興財団

事務局 藤沢市藤沢607番地の1

設立年月日 平成24年10月1日

代表者氏名 理事長 増田 隆之

職員数 8人（契約職員2人、臨時職員1人を含む）

会 員 数

日 付	全事業所数	全会員数（人）	鎌倉事業所数	鎌倉会員数（人）
平成28年4月1日	2,121	11,079	438	2,775
平成29年4月1日	2,161	11,349	465	2,785
平成30年4月1日	2,160	11,758	468	3,008
平成31年4月1日	2,187	11,805	470	2,958

目 的

鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市にある中小企業・個人事業所の事業主と従業員のために、「事業主」「行政」「サービスセンター」の連携により、福利厚生制度を充実させ、勤労者等の福祉向上と地域産業を活性化することを目的としています。

加入条件

- ① 事業所単位の加入 鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市内の事業所で、常時雇用する従業員300人以下の事業主および従業員（パートタイマーも可）の方。
- ② 個人単位の加入 鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市内のいずれかに在住し市外の中小企業に勤務しかつその勤務地に同種の制度がない方。

会 費

会 費 1人月額 500円（原則半額以上を事業主負担）、市外勤務個人会員は本人負担

事 業

- 1 在職中の生活の安定に係る事業
慶弔給付制度（結婚・出産・入学祝金や傷病見舞金・死亡弔慰金などの給付）
- 2 健康の維持増進に係る事業
人間ドック検診補助、レジャー施設等利用助成制度、スポーツクラブとの法人契約
- 3 自己啓発に係る事業
各種教室等
- 4 余暇活動に係る事業
レクリエーション（バスツアー・映画会・釣り・ゴルフコンペ等）の実施
コンサート等のチケット割引あっせん
割引宿泊保養施設やレジャー施設のあっせん及び補助（宿泊旅行2,000円補助）
- 5 財産形成に係る事業
財産形成、相続セミナーの開催
- 6 その他センターの目的を達成するために必要な事業
センターニュース（年6回）の配布、ホームページ開設などの情報提供
サービスセンター会員加入促進事業（加入促進員の配置、ダイレクトメールの発送等）

11 技能者表彰

(1) 目的

この表彰は、永く同一の職業に従事して、技能の錬磨や後進の指導育成などにより、市民生活の向上に功績のあった技能者の功労をたたえることによって、技能者の経済的、社会的地位及び技術水準の向上を図ることを目的とするものです。

(2) 表彰基準

この表彰は、(5)職種の表に定める職種に従事している人のうち、市内の事業所に勤務する人で、次の各号に定める条件を満たす人に対して行うものです。この場合において、イ及びウについては、(5)職種の表に掲げる職種ごとに免許資格等が定められているときは、その免許資格等を取得した人に限ります。

ア 技能功労者

- (ア) 技能者として同一職業に30年以上従事している年齢が60歳以上の人
- (イ) 優れた技能を持ち、他の技能者の模範と認められる人
- (ウ) 引続き、その職業に従事し、指導的な立場にある人

イ 優秀技能者

- (ア) 技能者として同一職業に15年以上従事している年齢が30歳以上56歳未満の人
- (イ) 優秀技能者にふさわしい優れた技能を持ち、後進の模範となっている人
- (ウ) 引続き、その職業に従事する人

ウ 青年優秀技能者

- (ア) 技能者として同一職業に7年以上従事している年齢が30歳未満の人
- (イ) 青年技能者にふさわしい技能を持ち、将来を嘱望されている人

(3) 選考方法

ア それぞれの技能職団体又は同業者の代表者が、表彰基準に該当する者がいるとき、市長に指定の様式により文書で推薦する。

イ 市長は選考に当たって、鎌倉市技能者表彰選考委員会を設置し、同委員会の審議を経て、公正に決定します。

(4) 表彰

ア 表彰は市長が毎年11月に行います。

イ 被表彰者に対しては、表彰状及び記念品を授与します。

(5) 職 種

No.	職 種 名	No.	職 種 名	No.	職 種 名
1	石 工	24	と び 職	47	刀 剣 研 師
2	印 刷 工	25	豆 腐 製 造 職	48	食 肉 商
3	印 章 彫 刻 士	26	塗 装 工	49	ボ イ ラ ー 技 士
4	屋 外 広 告 美 術 士	27	時 計 修 理 工	50	そ ば 職
5	家 具 製 造 士	28	配 管 工	51	寿 司 商
6	鎌 倉 彫 彫 師	29	はり・灸・あんま マッサージ・指圧師	52	製 麵
7	鎌 倉 彫 塗 師	30	建 築 板 金 工	53	鉄 鋼 業
8	ガ ラ ス 装 着 工	31	美 容 師	54	履 物 製 造
9	ク リ ー ニ ン グ 師	32	表 具 師	55	製 材 業
10	建 設 関 係 技 能 士	33	ブ ロ ッ ク 建 築 工	56	帆 布 製 造
11	左 官 職	34	木 槽 製 造 工	57	紋 章 上 絵 師
12	写 真 師	35	屋 根 職	58	看 護 士
13	寝 具 製 造 士	36	洋 裁 師	59	折 箱
14	製 菓 技 術 師	37	洋 服 裁 縫 師	60	納 豆 製 造
15	製 靴 職	38	理 容 師	61	か ま ぼ こ 製 造
16	染 物 師	39	和 裁 師	62	ち ょう ち ん 看 板 製 造 業
17	造 園 工 (植 木 職)	40	自 転 車 修 理 工	63	つ くだ に ・ に ま め 製 造
18	大 工	41	自 動 車 整 備 士	64	飲 食 業
19	タ イ ル ・ レ ン ガ 工	42	鮮 魚 商	65	木 箱 製 造
20	畳 職	43	製 パ ン	66	彫 金 師
21	建 具 職	44	木 工 工 芸 職	67	生 花 商
22	調 理 師	45	歯 科 技 工 士	68	鎌 倉 彫 師
23	電 気 工 事 士	46	鎌 倉 彫 木 地 師	※その他、市長が適当と認めた職種	

(6) 表彰式

平成30年11月23日 (金・祝) 鎌倉市議会本会議場 (鎌倉市御成町18-10)

(7) 年度別技能者表彰受賞者数一覧

部門別 \ 年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
技能功労者	25	23	26	22	26	27	28	23	24	28	20	14	11	9	9	10	8
優秀技能者	27	23	17	10	19	10	12	14	16	11	10	8	10	7	7	10	9
青年優秀技能者	12	9	6	5	4	2	5	0	3	1	2	2	1	0	0	0	1
計	64	55	49	37	49	39	45	37	43	40	32	24	22	16	16	20	18

各部門別受賞者の合計 (昭和49年度より) 技能功労者 1,297人
 優秀技能者 1,233人
 青年優秀技能者 208人
 計 2,738人

12 技 能 祭

伝統と日頃培われた技能の数々を披露し、広く市民の関心を高めるとともに技能に対する理解を深めるため、鎌倉市技能職団体連絡協議会と開催しました。

日 時 平成30年10月14日（日） 午前10時30分から午後1時30分まで

会 場 鎌倉市役所駐車場（鎌倉市御成町18-10）

内 容 実技、実演、展示、相談、即売（☆は即売を実施したもの）、無料配布、抽選会

- | | |
|---|--|
| ○ 木遣り | 鎌 倉 鳶 職 組 合
大 船 鳶 職 組 合 |
| ○ 包丁研ぎ、木工品作り（☆）
住宅に関する相談 | 鎌 倉 建 築 組 合 |
| ○ 子供向け大工体験教室（☆） | 大 船 建 築 職 組 合 |
| ○ 光るドロダンゴ作製
外壁のひび割れ、内装の塗替え、左官工事一般相談 | 鎌 倉 左 官 業 組 合 |
| ○ 敷ゴザの展示（☆） | 鎌 倉 畳 工 業 組 合 |
| ○ 板金作品の販売（銅製の鶴・ジョウロ他☆）
屋根、雨どいの相談 | 鎌 倉 板 金 工 業 組 合 |
| ○ 衛生器具のカタログ配布
上・下水道、水まわりについての相談 | 鎌 倉 市 管 工 事 業 協 同 組 合 |
| ○ 石の表札作製、石の彫刻（☆）
ブロック塀・大谷石塀は、地震に耐えられるか | 鎌 倉 石 工 組 合 |
| ○ コードコネクターの組立体験、電気安全PR
電気整備全般相談 | 県 電 気 工 事 工 業 組 合 |
| ○ 模擬店(玉こんにゃく)（☆） | 鎌 倉 豆 腐 組 合 |
| ○ リサイクル自転車・自転車パーツ（☆）
自転車に関する相談 | 県 自 転 車 商 協 同 組 合 鎌 倉 支 部 |
| ○ エンジンカットモデル・新旧消耗品モデル展示
自動車に関する何でも相談 | 県 自 動 車 整 備 鎌 倉 支 部 |
| ○ 模擬店（お好み焼）（☆） | 鎌 倉 料 理 飲 食 業 組 合 |
| ○ ワンコインマッサージ体験
鍼灸マッサージの相談 | 鎌 倉 逗 葉 鍼 灸 マッサージ 師 会 |
| ○ 花苗無料配布

庭、植木等のお悩み相談 | { 鎌 倉 造 園 組 合
湘 南 建 設 組 合 造 園 鎌 倉 分 会
さ が み 農 協 鎌 倉 市 青 壯 年 部 緑 化 部 会
湘 南 建 設 組 合 造 園 鎌 倉 分 会 |
| ○ 抽選会（富くじ風） | |

鎌倉市技能職団体連絡協議会名簿

平成31年4月1日現在

No.	組 合 名	理事氏名	No.	組 合 名	理事氏名
1	鎌倉建築組合	立川 雄藏	21	伝統鎌倉彫事業協同組合	三月 一彦
2	大船建築職組合	吉原 弘晃	22	神奈川県自転車商協同組合鎌倉支部	山上 修平
3	鎌倉左官業組合	馬瀬 和晃	23	神奈川県クリーニング生活衛生同業組合鎌倉支部	中杉 春生
4	鎌倉畳工業組合	三橋 雅美	24	鎌倉美容組合	池田 充代
5	神湘タイル組合	矢澤 照孝	25	鎌倉寿司商組合	三倉 健次
6	鎌倉鳶職組合	金井 康悦	26	鎌倉食肉商組合	大村 得博
7	大船鳶職組合	露木 晃	27	鎌倉魚商組合	高木 賢一
8	鎌倉板金工業組合	浅田 雅一	28	大船魚商組合	武井 大次
9	鎌倉表具師会	五十嵐 一夫	29	さがみ農協鎌倉市青壮年部緑化部会	徳増 昭孝
10	鎌倉市管工事業協同組合	鈴木 淳	30	湘南瓦屋根工事組合鎌倉支部	二階堂 純
11	鎌倉塗装組合	国嶋 幹男	31	神奈川県土木一般労働組合鎌倉逗子葉山支部	小笠原 嘉一
12	鎌倉石工組合	砂川 忠雄	32	神奈川県自動車整備鎌倉支部	鈴木 一成
13	神奈川県電気工事工業組合藤沢地区本部鎌倉地区	山縣 雅武	33	湘南建設組合鎌倉支部大船東分会	米澤 日出男
14	鎌倉造園組合	岩崎 積	34	湘南建設組合大船南分会	佐藤 清二
15	湘南建設組合鎌倉支部大船分会	豊田 勝彦	35	神奈川県理容生活衛生同業組合鎌倉支部	遠藤 正弘
16	湘南建設組合鎌倉支部造園鎌倉分会	石川 隆	36	湘南建設組合大船泉分会	田子 祐司
17	鎌倉豆腐組合	柿崎 宏	37	鎌倉料理飲食業組合	柿澤 昭治
18	鎌倉菓子組合	濱野 誠	38	鎌倉生花商組合	小沢 滋年
19	大船生菓子組合	鎌田 忠	39	鎌倉逗葉鍼灸マッサージ師会	沢田 昌子
20	鎌倉製麺工業組合	今村 雅躬			